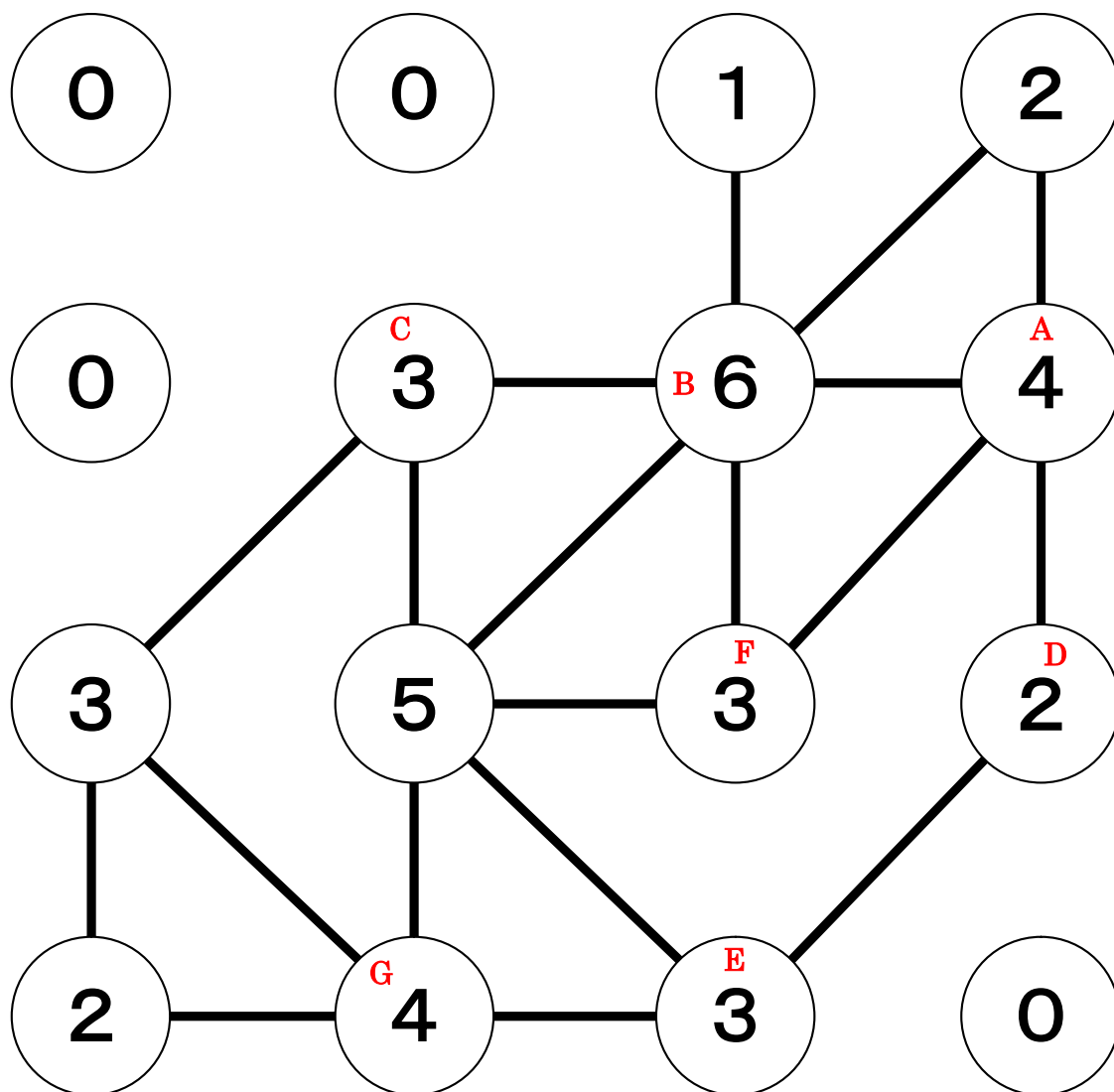


【解答】 ナンバーリンク その117



【考え方の例】

易しめな定石としては A 印の④左上の①と結ぶと角の②が成立しなくなるため④と①は結ばない。ゆえに④のつなぐ 4 か所が決まる。続いて、B 印の⑥が決まる。続いて、C 印の③が決まる。

D 印の②とその左の F 印③について考えると、もし、つないでしまうと E 印の③が成立しなくなってしまうため、D②とその左の F③は結ばない。ゆえに D②は E③とつながることがわかる。

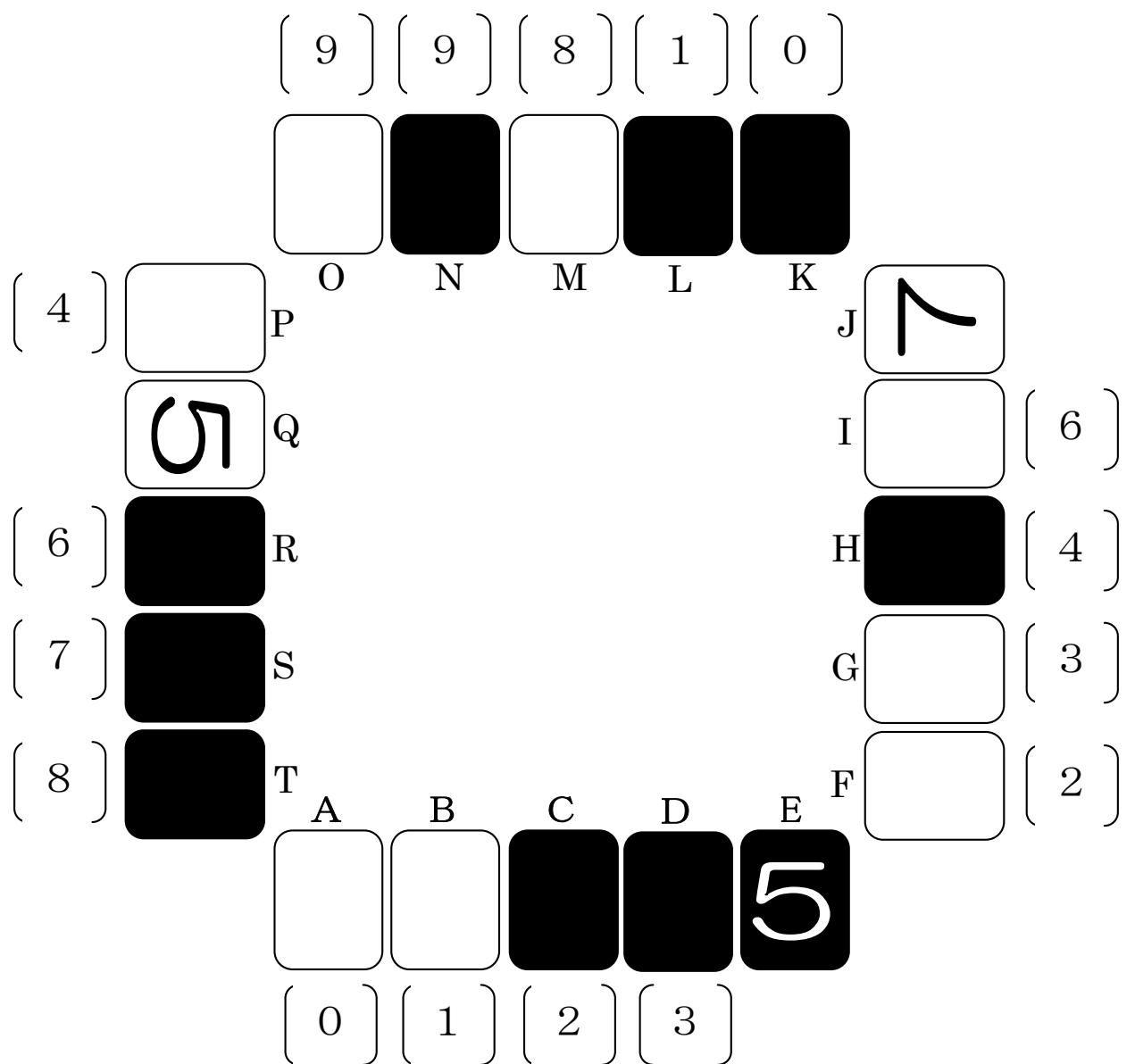
F③と G④を結んだとすると、やはり E③が成立しなくなってしまう。ゆえに F③と G④は結ばず、G④はそれ以外の島と結んで決まり。

残りは流れで完成。

【解答】 詰めアルゴ その117

0から9までの黒と白20枚をすべて使って、4人が向き合ってアルゴをしています。

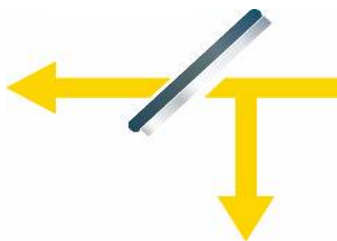
ふせてあるカードの数字を 考えましょう。



【解答】^{めいろ}迷路「^{ふしぎ}不思議な^{かがみ}鏡①」

SからGまで、ルールを^{まも}守って^{すす}進みましょう。ただし、^{そとがわ}外側のかべに^あ当たってはいけません。また、^{おな}同じ^{かがみ}鏡を^{かいつか}2回使ってはいけません。

ルール

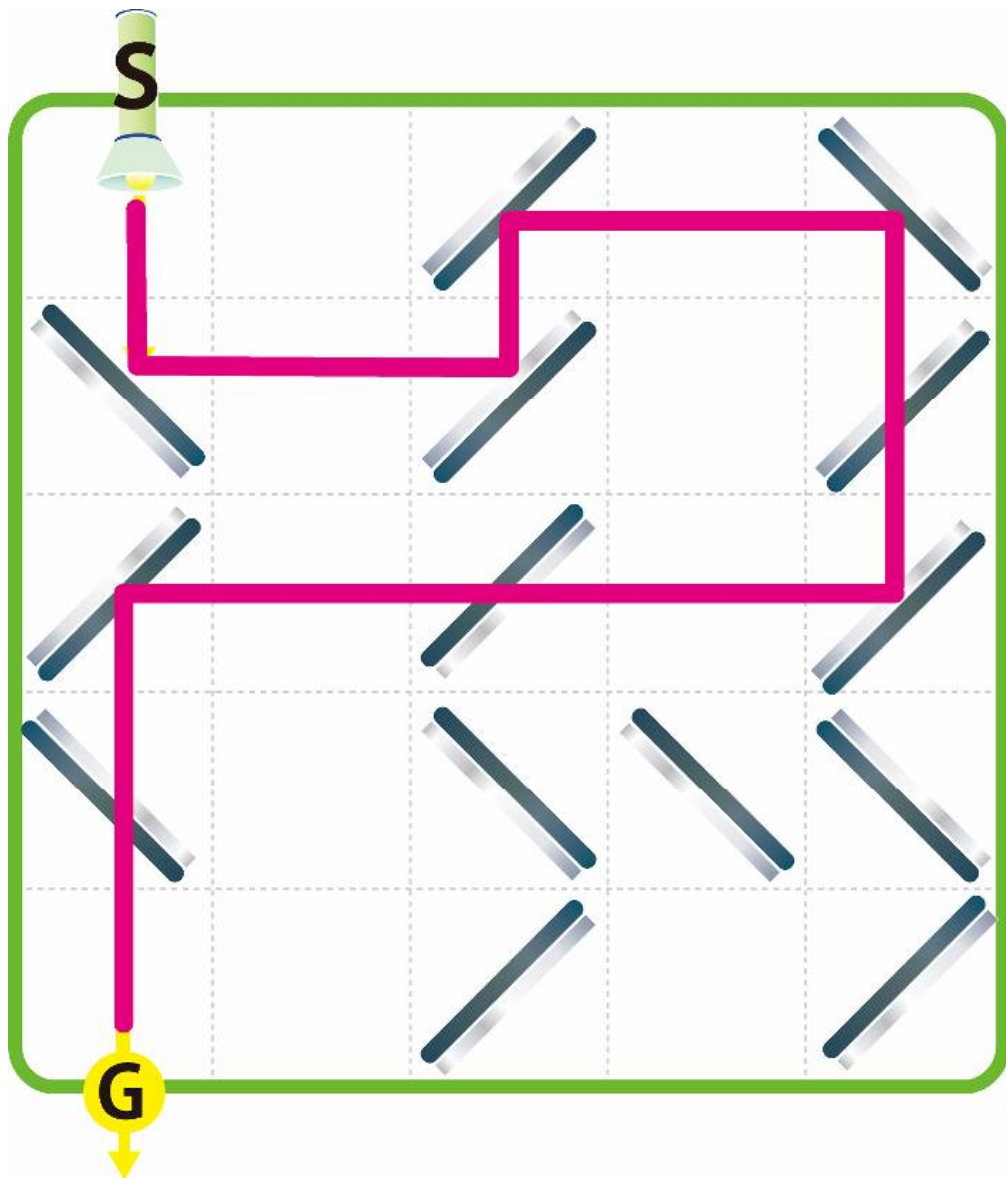


とおぬ
通り抜けできて、

ちよつかく ま
直角にも曲がる。



とおぬ
通り抜けできず、
ちよつかく ま
直角に曲がる。

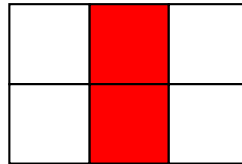
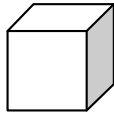
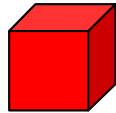


【解答】チャレペー その 117 「まだら積み」

赤と白の同じ大きさの立方体（りっぽうたい）を何個（なんこ）か使（つか）って、ま（う）え（み）から見（み）ると図 1 のよう（よう）に見える（み）立体（りったい）を作（つく）りました。

た（た）だ（だ）し、た（た）て（て）に（に）も横（よこ）にも、必（かな）ら（ら）ず（ず）赤（あか）と白（しろ）の立方体（りっぽうたい）が交（こう）互（ご）になら（な）ぶ（ぶ）よう（よう）に積（つ）み、ま（た）、た（た）て（て）に（に）は 1 段（だん）か 2 段（だん）の立方体（りっぽうたい）が積（つ）んで（で）あ（あ）ります（ります）。

そ（そ）れ（れ）ぞ（ぞ）れ（れ）の位（い）置（ち）に（に）は、立（り）っ（ぽ）う（た）い（ん）こ（つ）が何（なん）個（こ）ず（つ）つ積（つ）ま（ま）れ（れ）て（て）い（い）る（る）の（の）で（で）し（し）ょ（ょ）う（う）か。2 通（とお）り（り）考（かん）え（え）て、積（つ）ま（ま）れ（れ）て（て）い（い）る（る）個（こ）数（すう）を（を）書（か）き（き）入（い）れ（れ）ま（ま）し（し）ょ（ょ）う（う）。



（図 1）ま（う）え（み）から（か）ら見た（み）図（ず）

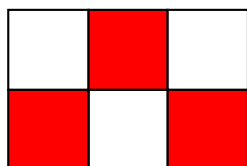
こた 答え																	
	<table><tr><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr><tr><td>2</td><td>2</td><td>2</td></tr></table>			1	1	1	2	2	2	<table><tr><td>2</td><td>2</td><td>2</td></tr><tr><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr></table>			2	2	2	1	1
1	1	1															
2	2	2															
2	2	2															
1	1	1															

【考え方の例】

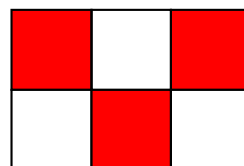
1 段（だん）目（め）は（は）ど（ど）の（の）よう（よう）に並（なら）んで（で）い（い）る（る）か（か）を考（かん）え（え）て（て）み（み）ま（ま）す（す）。赤（あか）と白（しろ）の立（り）っ（ぽ）う（た）い（ん）こ（つ）が交（こう）互（ご）に並（なら）ぶ（ぶ）の（の）は、下（した）の（ア）と（イ）の場（ば）合（あ）い（い）です（す）。

（真（ま）上（う）から見た（み）図（ず））

（ア）



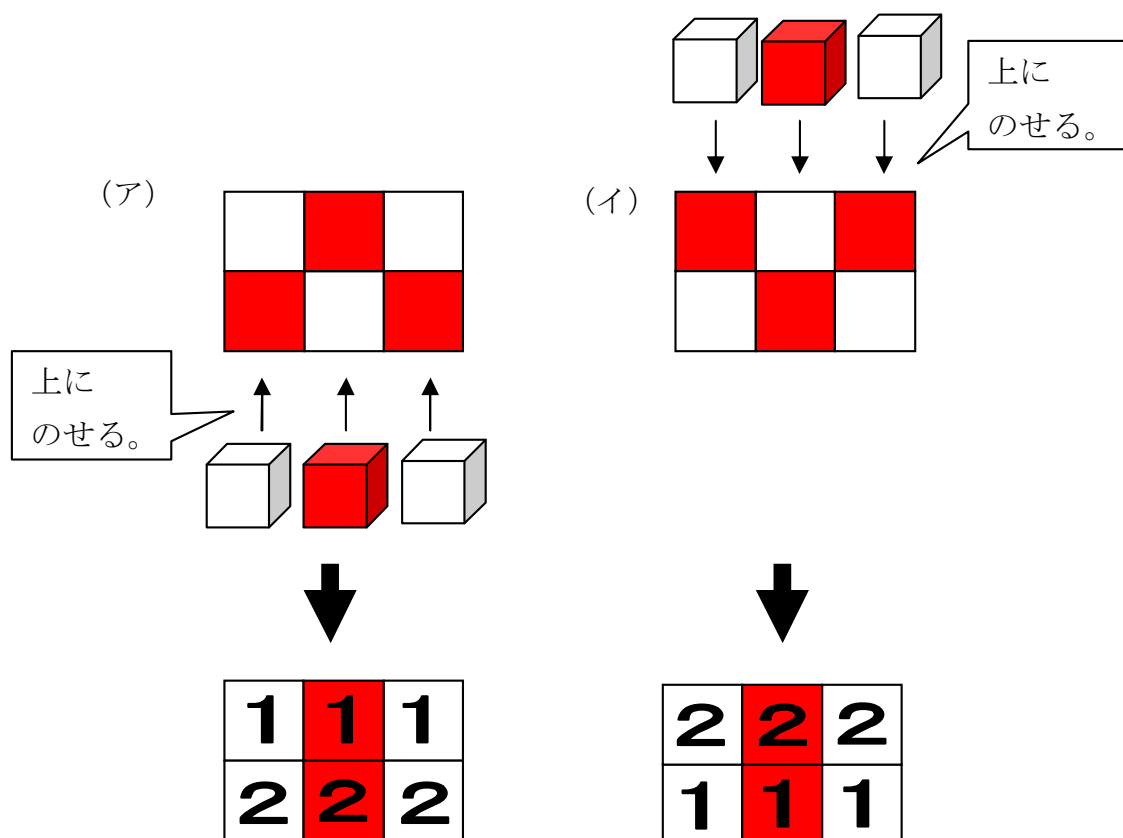
（イ）

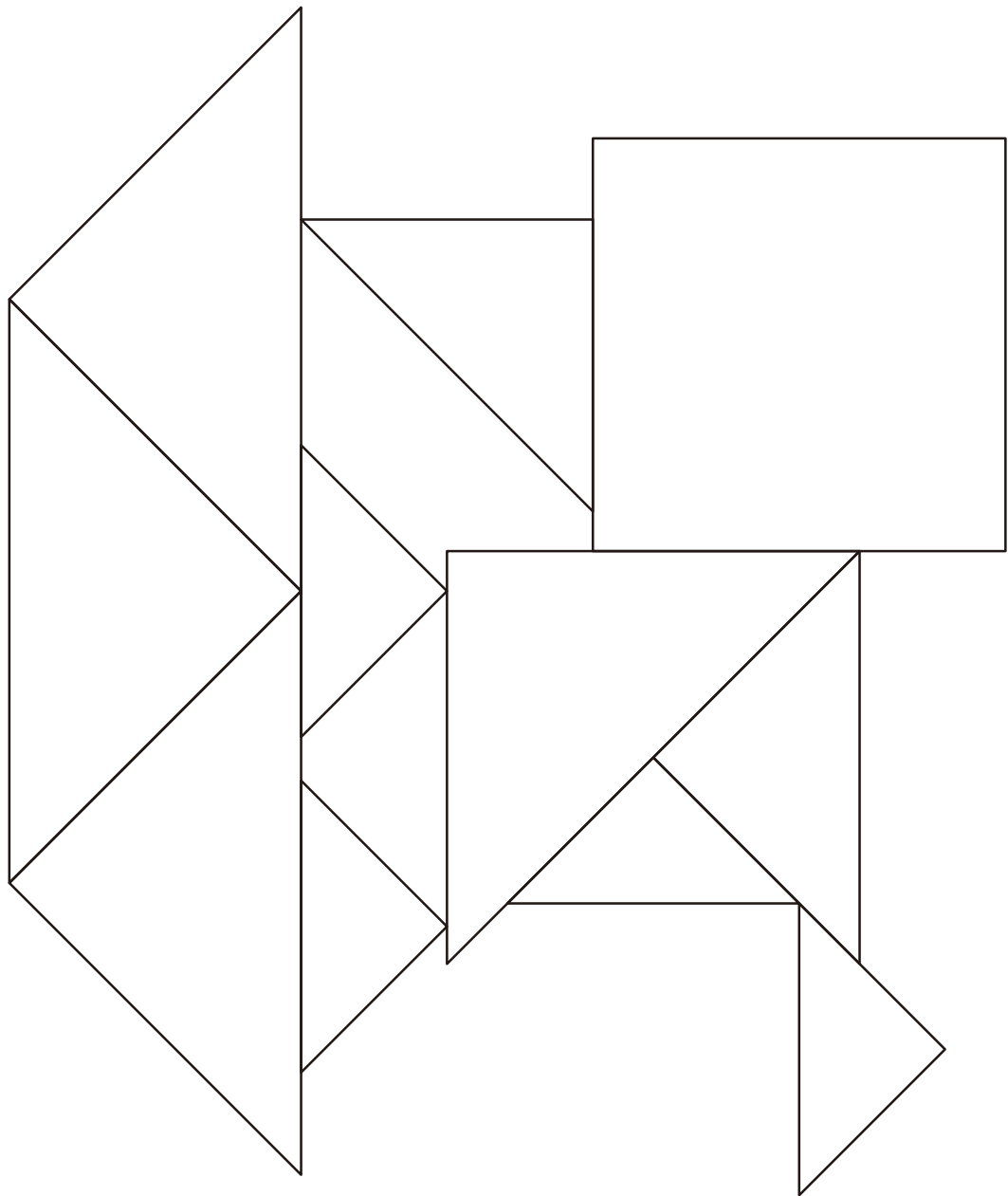


（ア）の図（ず）の、手（て）前（まへ）の 3 つの立（り）っ（ぽ）う（た）い（ん）こ（つ）に、左（ひだり）から順（じゆん）に白（しろ）、赤（あか）、白（しろ）の立（り）っ（ぽ）う（た）い（ん）こ（つ）を積（つ）

むと、図 1 と同じに見えます。つまり、手前の 3 つがそれぞれ 2 段、奥の 3 つがそれぞれ 1 段積まれていることがわかります。

同じように、(イ) の図の、奥の 3 つの立方体に、左から順に白、赤、白の立方体を積むと、図 1 と同じに見えます。つまり、奥の 3 つがそれぞれ 2 段、手前の 3 つがそれぞれ 1 段積まれていることがわかります。





★ AC 会員作品